

# 平成29年度事業報告

## 1 平成29年度事業概況

平成29度は、社会福祉法の一部改正（平成28年法律第21号、「以下「改正法」という。）の本格的施行の年度でありました。

また、同年6月11日は、本法人設立の50周年に当たり、各界各層の多数の出席のもと、前日において、各種記念行事を施行いたしました。

このような年度性格を踏まえ、昨年度に引き続き、業務運営の課題の「洗い出し、洗い直し」を行うとともに、新たに、社会福祉充実計画に基づく、事業の推進を図りました。

また、改正法により求められる、事業運営の透明性については、IT（ホームページ）、広報誌「慈光」の活用を図り、広く公表に努めるとともに、財務規律の強化については、規定等の整備を図りました。

通常の相談支援に加え、自立就労した利用者の生活支援（日常生活上の困難…取引）による地域への定着に努めました。

### （1）経営機関の活性化

改正法においては、経営リスクの適正なマネジメントが強く求められ、経営機関にはガバナンスの発揮が期待されているところであります。

各機関の議決事件とされている事案については、議案、議案内容、提案趣旨及び提案の背景を提示し、審議が活発化するよう努めました。

経営機関の活動内容については、以下のほか事業報告のとおりであります。

### 【経営機関の活動状況】

- （1）評議員会を年2回開催
- （2）理事会を年6回開催（書面議決 1回）
- （3）監事監査を年2回
- （4）苦情処理委員会を少なくとも年1回開催

### 【会議開催予定】 別途記載

### （2）中期経営計画に基づく事業の推進

平成29年度を初年度とする「長崎慈光園中期事業計画」（平成29年3月理事会議決）に基づく事業の推進を図りました。

#### 1 計画の4つの柱

この経営計画の柱は、今後5か年の経営の基本方針を「サービス」「人材」「経営」「地域貢献」の4つをキーワードとして集約しております。

- 1 利用者の安心・満足、地域の信頼を得るサービスの提供
- 2 人を育て・活かし・大切にす職場環境の構築
- 3 開かれた・健全・効率的な経営マネジメントの実践
- 4 地域福祉の向上・公益的事業への取組み

### (3) 利用者視点でのサービスの質の向上と新たな価値の創造

- 利用者の視点での福祉サービスにおける業務の整理・改善を積極的に行い標準化を目指しました（マニュアルの改変）。

### (4) 新年度事業に向かったの見直し

① 就労継続支援B型事業の見直し	ア 多機能型事業（就労継続支援B型と生活訓練事業）を単独B型事業「ぶろーど」とする。 イ 「ぶろーど」の授産科目を窯業・農業の比重を増大し、定員を20→25人へ。
② 生活訓練事業の廃止	平成29年3月31日付廃止
③ こども発達支援センターの設置	・ 平成30年度事業として、補助申請。 平成30年3月22日決定通知あり。
④ 改正法による社会福祉充実計画の執行	ア 県承認 平成29年7月31日 イ 承認額300,080千円 ウ 計画の概要・・・別記

## 2 具体的事項

### 1 利用者の安心・満足、地域の信頼に応えるサービスの提供

#### ア サービスの質の向上

- ① 各施設、一つの特徴、一つの自慢サービスの推進
- ② アクセントと具体性のある個別支援の推進

#### イ 利用者の安全・安心の確保

- 危機管理マニュアルの点検と検証を行いつつ、消防訓練、防災訓練、避難訓練を行った。

#### ウ 家族との連携と信頼の確保

次の事項の実施に努めた。

- ① 家庭通信の恒常化と意見聴取
- ② 利用者所持金の適正な使用と指導
- ③ 携帯電話の適正な利用と頻度の指導

#### エ 苦情（意見・要望）解決

目立った苦情や要望は、無かった。

#### オ 相談支援事業の活用

通常の相談支援に加え、自立就労した利用者の生活支援（日常生活上の困難…取引）等にも積極的にに関わり、利用者の地域定着に努めた。

- 取扱件数 年間430件（目標値450件）

## カ インフルエンザ罹患者の大量発生

予防注射の摂取、R-1の飲用等に努めたが、第一及び第二長崎慈光園において、多くの罹患者が発生した。

通常想定される予防策は講じたところであるが、今後の大きな課題と考えている。

## 2 人を育て・活かし・大切にす職場環境の構築

職場内・職場外研修に努めるとともに、特に「虐待防止」については、「絶対0」の遵守をスローガンに力を入れた。

## 3 開かれた・健全・効率的な経営マネジメントの実行

計算書類、事業報告書については、法の趣旨に沿って、遅延することなく、ホームページに掲載するとともに、広報誌「慈光」においても掲載した。

## 4 地域福祉の向上・公益的事業への取組み

### ア 公益的活動の推進

- 生活困難者（虐待・差別等障害者）への低額経費による支弁活動（2件）
- 生計困難者レスキュー事業として実施（4件、その他1件）

### イ 児童通所施設「ホープ」による地域福祉貢献事業

- ① 障害児の方を抱える家族向け講習会の実施
- ② 保育園等へノウハウ提供と研修会の実施
- ③ 地域の子育て支援のための町への協力

## 3 主要行事

行事名	実施日
苗販売	平成29年4月8・9日
波佐見陶器市	4月28～5月5日
創立50周年記念式典	6月10日
夏祭り	7月21日
紅葉祭	10月1日

## 4 主な設備投資等

事項名	契約額	契約日	業者名
第三長崎慈光園窯業等整備事業	50,760,000	平成29年5月2日	(株)小佐々建設
Honda N-BOX購入2台	2,978,533	7月6日	(有)松尾自動車
送迎バス購入事業	8,695,040	9月5日	(株)タゾエ
職業訓練棟等解体工事	8,100,000	12月8日	(株)小佐々建設
電力供給契約		平成30年3月19日	長崎地域電力(株)
給食業務委託	81,115,613	3月29日	ウオクニ(株)
第四長崎慈光園県有地借上契約	5,766,682/年	3月23日	長崎県